



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日

上場会社名 恵和株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4251 URL <https://www.keiwa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 長村 恵次
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部 (氏名) 吉岡 佑樹 (TEL) 03(5643)3783
 本部長代理兼財務部長
 四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	4,609	44.1	1,003	503.5	1,271	682.0	832	—
2023年12月期第1四半期	3,198	△42.5	166	△89.5	162	△91.3	54	△95.5

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 964百万円(666.5%) 2023年12月期第1四半期 125百万円(△90.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	43.21	—
2023年12月期第1四半期	2.84	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	28,557	20,840	73.0
2023年12月期	29,267	20,357	69.6

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 20,840百万円 2023年12月期 20,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,075	22.7	1,261	112.9	1,262	36.0	964	54.2	50.06
通期	19,667	11.9	2,788	13.6	2,784	1.0	2,128	7.3	110.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年12月期1Q	19,270,448株	2023年12月期	19,270,448株
2024年12月期1Q	665株	2023年12月期	663株
2024年12月期1Q	19,269,783株	2023年12月期1Q	19,256,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化により個人消費、インバウンド需要の回復から一部の消費に勢いが見られ、企業の設備投資等が持ち直すなど、緩やかな回復基調がみられました。一方、ロシアのウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の不安定化、中国経済の成長鈍化、欧米におけるインフレの長期化や世界的な金融引き締めなどに加え、日銀の政策転換があったものの円安が進行する等による原燃料価格の高騰に起因する物価上昇という景気押下げ圧力により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、世界的な在庫調整に伴うPC市場の回復がより顕著に見られるものの、その足取りはいまだ不安定な状況でありました。

このような状況におきまして、当社グループは、上位機種ノートPC・タブレット向け、車載向けを中心とする光学製品やクリーンエネルギー車向け特殊フィルム製品などの高付加価値製品の販売促進活動を世界各地の拠点で強化するとともに、生産性の向上と新規事業に対する研究開発に努めました。また、地球の絆創膏事業においては、展示会出展とセミナー開催を始めとする企業向けを中心としたプロモーション活動を強化し、長期的な認知度向上と受注獲得を推進いたしました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は4,609百万円（前年同期比44.1%増）、営業利益は1,003百万円（前年同期比503.5%増）、経常利益は1,271百万円（前年同期比682.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は832百万円（前年同期比1,421.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[光学シート事業]

ノートPC・タブレット向けは、引き続き高性能な直下型ミニLED液晶ディスプレイ向け複合拡散板「オパスキ®」の複数の案件で量産出荷を進めており、さらなる新規採用獲得に注力した結果、新たな受注を獲得いたしました。

また、従来型の液晶ディスプレイ向けの光拡散フィルム「オパルス®」についてはノートPC・タブレットに加えて車載向けなどの販売促進に努めた結果、市場の回復による需要増に加えて既存取引先におけるシェアアップや複数の案件での量産出荷に至りました。

スマートフォン向けは、光拡散フィルム「オパルス®」の売上が減少いたしました。スマートフォン向けにはほとんど採用されている「オパルス®」に加えて、新機種向けに当社光学フィルムが採用されており、特殊な機能を有する新製品の売上が増加しました。

この結果、売上高3,553百万円（前年同期比59.0%増）、セグメント利益1,713百万円（前年同期比112.0%増）となりました。

[生活・環境イノベーション事業]

クリーンエネルギー車向けは、当社特殊フィルム製品を採用した車種が増加し、また、医療衛生向けフィルムの需要が増加したことにより、収益性と成長性が高い分野での売上が増加いたしました。これにより、製品構成に占める高収益製品の比率が上昇し、利益率が向上いたしました。また、医療衛生向けフィルムにつきましては、さらなる受注に対応するために製造設備を追加することとしております。

この結果、売上高947百万円（前年同期比0.02%増）、セグメント利益94百万円（前年同期比43.2%増）となりました。

[地球の絆創膏事業]

前連結会計年度に引き続き、屋根用保護シート「KYÖZIN Re-Roof®」は、工場建屋や倉庫、店舗等の企業を対象とする展示会への出展やセミナーの開催などを中心にプロモーション活動を強化し、長期的な認知度向上と受注の獲得に努めました。併せて、生産能力の確保のための生産設備が完成し、製品価値の更なる向上のための開発研究を行う体制が整いました。また、企業からの需要増加を受けて、当連結会計年度における地球の絆創膏事業の方針を変更し、販売先を企業向けに集中、一般住宅向けは、当面の間受注しないことといたしました。これらの施策により、企業向けの採用実績が増加し、当第1四半期連結会計期間の売上高は108百万円と前年度第4四半期連結会計期間対比80.6%増加いたしました。

この結果、売上高108百万円（前年同期比546.3%増）、セグメント損失55百万円（前年同四半期連結累計期間はセグメント損失42百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産の部)

資産合計は、現金及び預金が654百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が415百万円、有価証券（譲渡性預金）が500百万円、未収消費税等を含むその他流動資産が367百万円それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ709百万円減少し、28,557百万円となりました。

(負債の部)

負債合計は、電子記録債務が441百万円、営業外電子記録債務が337百万円、長期借入金が290百万円それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,192百万円減少し、7,717百万円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、剰余金の配当により481百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により832百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ482百万円増加し、20,840百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月13日に開示いたしました「2023年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した連結業績予想数値から、変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,148,385	7,802,861
受取手形及び売掛金	4,932,980	4,517,102
有価証券	1,500,000	1,000,000
商品及び製品	1,381,545	1,325,197
原材料及び貯蔵品	589,669	518,587
その他	785,741	418,240
貸倒引当金	△475	△451
流動資産合計	16,337,845	15,581,538
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,972,163	5,886,852
機械装置及び運搬具（純額）	2,301,125	2,762,597
土地	880,315	880,315
建設仮勘定	2,616,070	2,312,836
その他（純額）	376,326	362,149
有形固定資産合計	12,146,001	12,204,750
無形固定資産	469,761	446,745
投資その他の資産		
投資有価証券	131,343	146,651
その他	249,749	248,145
貸倒引当金	△67,289	△70,347
投資その他の資産合計	313,803	324,449
固定資産合計	12,929,566	12,975,944
資産合計	29,267,412	28,557,482

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,410,022	1,131,635
電子記録債務	1,071,383	629,852
1年内返済予定の長期借入金	1,172,770	1,156,473
未払金	731,717	1,049,339
未払法人税等	523,931	390,851
製品保証引当金	161,430	148,098
賞与引当金	—	50,930
営業外電子記録債務	451,196	113,634
その他	320,517	262,345
流動負債合計	5,842,970	4,933,160
固定負債		
長期借入金	2,714,321	2,423,521
退職給付に係る負債	241,185	243,508
資産除去債務	51,875	51,880
その他	59,527	65,373
固定負債合計	3,066,909	2,784,284
負債合計	8,909,879	7,717,444
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,881,305	3,881,305
資本剰余金	3,649,905	3,649,905
利益剰余金	12,205,643	12,556,558
自己株式	△709	△712
株主資本合計	19,736,145	20,087,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,244	47,552
繰延ヘッジ損益	28,882	3,182
為替換算調整勘定	544,901	692,170
退職給付に係る調整累計額	10,357	10,075
その他の包括利益累計額合計	621,386	752,980
純資産合計	20,357,532	20,840,038
負債純資産合計	29,267,412	28,557,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	3,198,403	4,609,423
売上原価	2,033,616	2,493,550
売上総利益	1,164,786	2,115,873
販売費及び一般管理費	998,466	1,112,114
営業利益	166,319	1,003,758
営業外収益		
受取利息	3,282	8,171
助成金収入	7,048	49,441
売電収入	5,382	5,157
為替差益	—	221,888
その他	5,953	4,952
営業外収益合計	21,666	289,611
営業外費用		
支払利息	9,558	7,560
売電費用	2,507	2,241
支払補償費	—	11,180
為替差損	12,119	—
その他	1,153	551
営業外費用合計	25,337	21,533
経常利益	162,648	1,271,836
特別利益		
固定資産売却益	499	9
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	504	9
特別損失		
固定資産除却損	1,318	11
減損損失	—	100,500
特別損失合計	1,318	100,511
税金等調整前四半期純利益	161,834	1,171,333
法人税、住民税及び事業税	17,195	336,262
法人税等調整額	89,914	2,412
法人税等合計	107,109	338,674
四半期純利益	54,725	832,659
親会社株主に帰属する四半期純利益	54,725	832,659

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	54,725	832,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,955	10,307
繰延ヘッジ損益	△29,175	△25,700
為替換算調整勘定	92,341	147,268
退職給付に係る調整額	△49	△282
その他の包括利益合計	71,071	131,593
四半期包括利益	125,796	964,253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125,796	964,253
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 減損損失

当社は、2024年3月25日に光学シート事業における生産設備の一部建設中止を決定したことに伴い、固定資産に係る減損損失100,500千円を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	光学シート 事業	生活・環境 イノベーション 事業	地球の絆創膏 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,234,771	946,834	16,797	3,198,403	—	3,198,403
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,234,771	946,834	16,797	3,198,403	—	3,198,403
セグメント利益	808,168	65,882	△42,851	831,199	△664,880	166,319

(注) 1 セグメント利益の「調整額」の区分は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、報告セグメントの事業区分を「光学シート事業」及び「機能製品事業」の2事業区分に分類しておりましたが、前第2四半期連結会計期間より、「機能製品事業」については、複数の事業部が集まり多岐にわたる製品の製造及び販売を担っていることを明確に表示するため、報告セグメントの名称を「機能製品、他」に変更いたしました。また、当社グループが重要な新事業と位置付けている、屋根やコンクリート建造物の保護シート「KYŌZIN®」の開発・製造拠点として、2022年10月14日「地球の絆創膏本部淡路ベース」が操業を開始し、これらの事業を担う「地球の絆創膏本部」に対しては、将来にわたり重点的な経営資源の配分を行い、業績評価のモニタリングを実施していくことから、「機能製品、他」から分離・独立し、「地球の絆創膏事業」セグメントを新設いたしております。なお、その他の「機能製品、他」に属する製品及びサービスについては、セグメントの事業目的をより明確化するために、「生活・環境イノベーション事業」に名称変更を行っております。

この結果、当社グループの報告セグメントは、前連結会計年度より、「光学シート事業」、「生活・環境イノベーション事業」、「地球の絆創膏事業」の3事業区分に変更し、当社グループの経営状況をより適切に表示することとしております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	光学シート 事業	生活・環境 イノベーション 事業	地球の絆創膏 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,553,847	947,015	108,560	4,609,423	—	4,609,423
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,553,847	947,015	108,560	4,609,423	—	4,609,423
セグメント利益	1,713,498	94,319	△55,625	1,752,193	△748,434	1,003,758

(注) 1 セグメント利益の「調整額」の区分は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
光学シート事業		
ノートパソコン・タブレット	1,542,993	2,570,440
スマートフォン	81,590	70,769
モニター・他、高機能フィルム	610,187	912,637
小計	2,234,771	3,553,847
生活・環境イノベーション事業		
包装資材	388,671	382,079
工程紙・建材	351,656	346,709
クリーンエネルギー資材	160,047	177,575
農業資材・他	46,459	40,650
小計	946,834	947,015
地球の絆創膏事業		
屋根補修材・他	16,797	108,560
小計	16,797	108,560
四半期連結損益計算書計上額	3,198,403	4,609,423